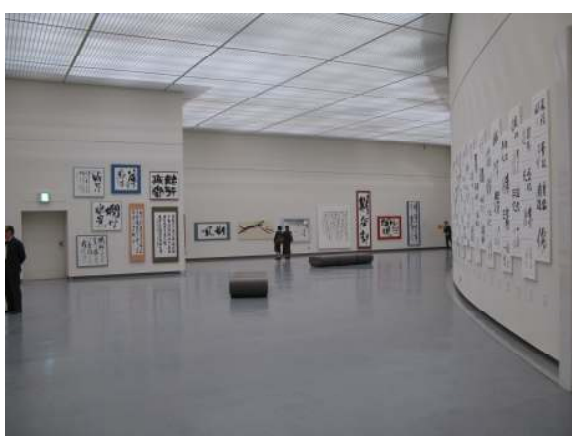




展示作品



会場風景

第 51 回公募書玄展

と き:平成 27 年 5 月 5 日(火)~10 日(日)

と ころ:愛知県美術館ギャラリー

書玄展も昨年 50 回を終え、本年より新たに公募展としてスタートを切りました。例年の様にテーマに添って書かれた作品を「創作の部」とし、新たに「臨書の部」を設けて二部門での作品募集をしました。

公募第一回展のテーマは、一昨年の『山月記』に続き、中島敦の『李陵』としました。やや難しいテーマでしたが、出品者がそれぞれに思いを凝らした作品制作をして、バラエティーに富んだ明るい会場となりました。ワイヤーを使用せずピンだけの展示や、枠のないパネル張りの表装等、例年同様吸月堂、会員並

びにスタッフの努力の賜物であったと思います。

また、入賞作には個性的な作品を選び、作品を思考する方法性を示しました。次回に向けて、自分で考える制作を更に望みたいと願っています。

ともあれ、公募第一回展を無事終えることが出来ましたこと、関係各位に感謝申し上げますと共に、御多忙の中、御来場賜りました皆様に厚くお礼申し上げます。

(平成27年7月10日 加藤 裕 記)